

学校の運営を地域から支えてくださる「学校評議員」の方や、厚生労働大臣から委嘱され、地域において住民の立場で相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努める役割をもった「民生委員・主任児童委員」の方と、玉島北中学校の現状や皆さんの様子について話し合いを行いました。

玉島北中の生徒の様子について

◇良い顔つきの生徒が多くいる

下足入れの靴がきれいに並んでいる → 人の靴もきれいに直せると全体に波及してさらに良くなる。

コロナの影響があるのでは心配していたが、生徒たちは頑張っており安心した。スタートが肝心。先生方が腰を落ち着け取り組んでいることが、好結果につながっている。「散歩をされていて中学生の皆さんから、元気なあいさつをしてもらい、気持ちのよい1日が過ごせた」と地域の方から電話で報告を受けた。感心しました。

地域の中学生は、頑張っている。

◆放課後、車の迎えがある。そのため路上で待っている車があり危険を感じることもある。家の近くでは、ヘルメットをかぶっていないことがある。交差点で別れを惜しんで話をしており、危険なこともある。

地域の方からも「玉島北中学校」の生徒の良さを実感していただいています。今よりもさらに素晴らしい中学校にしていくために、皆さんでいろいろなことに取り組みしましょう。生徒会、環境委員からの呼びかけのあった「教室の机やベイの整頓」も努力したい項目ですね。「玉島北中学校の生徒です」と胸を張って言えるようにしたいですね。

こんないいことありました

朝の校門でのあいさつを終えて職員室に帰っている途中、大きな音がし、誰もいない場所の自転車が転倒しました。うまくスタンドがかかっていなかったのでしょうか。すぐに近くの1年生3～4人が自転車を元のように直していました。細かいところに気が付く人は素敵だと思いました。



書写 黙々と書いていました。
心が洗われるような静けさでした。
皆さんの真剣さがうかがわれました